

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公開します。

会 議 名	令和4年度 高松市安全で安心なまちづくり推進協議会
開 催 日 時	令和4年11月24日(木) 13時30分～16時00分
開 催 場 所	高松市役所3階 32会議室
議 題	(1) 近年の犯罪の現状と香川県警察本部の取組について (2) 高松市安全で安心なまちづくり支援事業の取組について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上 記 理 由	
出席委員	13人
	高田会長、井藁委員、上田委員、岡本委員、川上委員、川口委員、川畑委員、厨子委員、中山委員、額田委員、深田委員、藤田委員、古川委員
傍 聴 者	0人 (定員 5名)
担 当 課 及 び 連 絡 先	くらし安全安心課 防犯・空き家係 (TEL 839-2555)

協議経過及び協議結果
<p>※議題(1) 近年の犯罪の現状と香川県警察本部の取組についての報告のため、香川県警察本部岩田調査官が出席。</p> <p>1 議題</p> <p>(1) 近年の犯罪の現状と香川県警察本部の取組について</p> <p>近年の犯罪の現状と香川県警察本部の取組について、県警本部岩田調査官から説明。</p> <p><b>報告内容</b></p> <p>1 近年の犯罪情勢</p> <p>1-1 全国と香川の犯罪情勢</p> <p>全国：平成14年をピークに減少し、令和3年は戦後最少(約57万件)を更新。 香川：平成15年から約6分の1に減少。手口は侵入盗が減少、殺人や放火は増加。</p> <p>1-2 市町別刑法犯認知状況と県民の意識</p> <p>刑法犯認知件数は高松市が多いが、人口1万人当たりになると、老年人口の低い市町に多い。</p> <p>「あおり運転」やインターネットを利用した犯罪に不安を感じている県民が多い。</p> <p>1-3 治安情勢に関する指数の推移</p> <p>被害者と加害者が対面する犯罪から、匿名性が高い非対面犯罪へと推移している。</p> <p>2 特殊詐欺の現状と対策</p> <p>2-1 令和3年の全国と香川の情勢</p>

全国：認知件数約1万5千件、被害額約282億円、大都市圏に集中。

香川：認知件数48件、被害額約1億43万円。被害者の約7割が65歳以上。

架空料金請求詐欺と還付金詐欺が手口全体の8割以上。

## 2-2 本年10月末の県内情勢

認知件数54件（前年+13件）。10月中旬以降オレオレ詐欺が連続発生。

県民の55%が特殊詐欺被害に遭わない、うち48%は騙されない自信があると考えている。

## 2-3 特殊詐欺の手口について

### <架空料金請求詐欺>

名義貸しトラブル：「介護施設の入居枠が当たった、使わないなら他の人に譲るために名義を貸してほしい」と言われ、了承すると後日「名義貸しは犯罪だ、逮捕されないために〇〇万円を支払え」と高額を請求される。

サポート詐欺：インターネット閲覧中にウイルス感染を示唆する画面が表示され、案内された電話番号に電話をかけると、「ソフトウェア購入のために、コンビニで電子マネーカードを購入してシリアルコードを教えて」と要求される。

### <還付金詐欺>

医療費払い戻し：市職員を名乗る犯人が「医療費の払い戻しができる。」「本日中にATMに行き、電話してほしい」と指示し、電話どおりに操作すると、振り込みをさせられている。

### <オレオレ詐欺>

息子・孫がたり：鉄道会社を名乗る犯人（A）から「忘れ物をしていませんか。」と電話があった後、息子を名乗る犯人（B）から「会社の大事な書類が入った鞆を忘れた。上司の親族にお金を渡してほしい。」と電話があり、関係者を名乗る犯人（C）が現れお金を渡してしまう。

## 2-4 被害防止に向けた対策／関係機関・団体と連携した取組

自分は大丈夫、だまされないという過信の払拭

犯人から電話を受けないための環境づくり

関係機関による声掛け、警察への通報のお願い

「ストップ・オレオレ詐欺47～家族の絆作戦～」プロジェクトチーム（SOS47）

## 2-5 声掛けの重要性／声掛けのポイント

着眼点：慌てている、何度も電話している、タクシーで来店した高齢者 等

有効性：被害者は冷静な判断ができていないため、考える時間を与えられる

ポイント：「だまされていませんか」と言わない、共感的・受容的に話を聞く、好意や親切を全面に出す

## 2-6 警察の取組

香川県警察ヨイチメール、安全・安心まちづくりNEWS、振り込め詐欺撃退装置の貸出、特殊詐欺撲滅おしながき

## 質問等

(委員)

今回の説明内容を所属の団体でも話してもらうことはできるか。

(県警)

「安全・安心まちづくり教育隊」が幼稚園や学校、自治会等に出向いて不審者対策や特殊詐欺の話を、歌を交えながら、楽しくわかりやすく教えている。管轄警察署の生活安全課に依頼してほしい。

(委員)

ATMに防犯カメラを設置し、不審な動作をしている人が見えたらATM内のマイクで注意喚起するといった方法はできないのか。

(県警)

金融機関との兼ね合いもあるが、このように意見交換できる会議で得られる貴重な意見として把握しておく。

(委員)

振り込め詐欺撃退装置の貸出期間6か月で効果を実感できるか。その後どうなるか。

(県警)

貸出台数に限りがあるため、広く県内の方に体験していただくため6か月の期間を設けており、その後は購入していただく等案内している。

## (2) 高松市安全で安心なまちづくり支援事業の取組について

高松市安全で安心なまちづくり支援事業の取組について、事務局から説明。

## 報告内容

### 1 防犯対策事業

自治会が所有・管理する防犯灯への助成

防犯カメラ設置費等補助金交付事業

関係団体への助成状況

香川県警察との連携について（防災行政用無線等の運用）

### 2 交通安全対策事業

市内の交通事故発生状況

交通指導員による交通安全教室の実施

高齢者運転免許証返納促進事業

### 3 空家等対策事業

本市の空家対策、空き家状況

空き家に対する補助制度

高松市空き家等マッチング事業

### 4 消費者保護対策事業

高齢者層の相談状況

高松市地域で支えあう見守り活動（消費者安全確保地域協議会）

消費者啓発事業の実施

## 質問等

(委員)

自転車の利用に関して、ルールやトラブルの対応方法が一目でわかるようなパンフレットの作成等の周知方法を検討していただきたい。

(委員)

自転車の交通マナーの指導や取り締まりを強化してほしい。

(会長)

自分の地区では警察に依頼してパトロールや適切な指導を強化してもらっているの  
で、そのような方法も可能と思われる。

(委員)

空き家対策について、地域で代わりに草刈りする等、地域ぐるみの対応をしたいが、  
所有者の情報がわからないので困っている。

(事務局)

相談者から所有者と連絡がとりたいとの依頼があった場合、所有者にその旨伝えるよ  
うにしているが、よりスムーズに地域と繋ぐことができるように検討したい。また、空  
き家になる前に近隣の方に連絡先を伝えておくよう周知していく。

(委員)

地域の空き家について、市が対応中の空き家かどうかわかるように看板を立てる等で  
きないか。

(事務局)

空き家といえども個人の財産であるため、そのような対応は難しいが、地域住民の方  
が安心して暮らせるように工夫していきたい。

(委員)

防犯灯は自治会の管理ということだが、自治会の加入率は低いのではないか。自治会  
に入っていないと申請ができないのか。

(事務局)

現在の補助制度では自治会加入が必要であり、地域の安全や安心して暮らせるまちづ  
くりのためにも、自治会に加入し地域とのつながりを持つことが重要であるとする。

(委員)

高齢者の免許返納促進事業について、自分が対象年齢であるが、特典が使い切りでメ  
リットを感じにくい。

(事務局)

他市の事例も調査しながら特典について検討していきたい。

## 2 その他

なし